

注3

大学番号：私285

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

日本経済大学 経営学部 グローバルビジネス学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 都築育英学園

令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名

キョウムブチョウ
教務部長

カワグチ
河口

ヨウコ
陽子

電話番号

092-921-9813

（夜間）

092-922-5131

F A X

092-921-3476

e-mail

kyoumuka@fk.jue.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

経営学部

＜グローバルビジネス学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	30

添付資料

FD委員会運営規程	34
SD委員会運営規程	35

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人 都築育英学園

(2) 大 学 名

日本経済大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒818-0197

福岡県太宰府市五条3丁目11番25号

〒150-0031

東京都渋谷区桜丘町24-5

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ツヅキ アスカ) 都築 明寿香 (平成19年11月)		
学 長	(ツヅキ アスカ) 都築 明寿香 (平成19年11月)		
学 部 長	(アカセ トモヒデ) 赤瀬 朋秀 (平成28年4月)		
学科長等	ブルーノ カート クリスチャン (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
経営学部 グローバルビジネス学科 学士（経営学）	経済学関係 経済学関係 経済学関係	4年	40人	— 年次人	160人	平成30年度、福岡キャンパスに、入学定員20人、收容定員80人で設置しましたが、平成31年度、東京渋谷キャンパスにも入学定員20人、收容定員80人で追加設置いたしました。（変更年月：平成30年6月25日届出）（元）

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	0.78倍	— 倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	19 (—) [1]	() []	51 (—) [—]	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	19 (—) [1]	() []	49 (—) [—]	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	19 (—) [1]	() []	44 (—) [—]	() []			

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	19 [1]	[]	25 [一]	[]	
2 年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	17 [1]	[] ()	
3 年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4 年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()		
計					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	19 [1]	[] ()	42 [1]

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

2 授業科目の概要

<経営学部 グローバルビジネス学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目 語学系	英語ⅠA	1前	1			1					
	英語ⅠB	1後	1			1					
	英語ⅡA	1前	1			1					
	英語ⅡB	1後	1			1					
	英語ⅢA	1前	1			1					
	英語ⅢB	1後	1			1					
	英語ⅣA	1前	1				1				
	英語ⅣB	1後	1				1				
	英語ⅤA	2前	1								1
	英語ⅤB	2後	1								1
	ビジネスイングリッシュⅠA	2前	1								1
	ビジネスイングリッシュⅠB	2後	1								1
	ビジネスイングリッシュⅡA	3前	1								1
	ビジネスイングリッシュⅡB	3後	1								1
	中国語ⅠA	1前	1								1
	中国語ⅠB	1後	1								1
	中国語ⅡA	2前	1								1
	中国語ⅡB	2後	1								1
	中国語ⅢA	3前	1								1
	中国語ⅢB	3後	1								1
	ドイツ語ⅠA	1前	1								1
	ドイツ語ⅠB	1後	1								1
	ドイツ語ⅡA	2前	1								1
	ドイツ語ⅡB	2後	1								1
	フランス語ⅠA	1前	1								1
	フランス語ⅠB	1後	1								1
	フランス語ⅡA	2前	1								1
	フランス語ⅡB	2後	1								

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 科 目 S D プ ロ グ ラ ム	S.D.Seminar A	1前	2				1				
	S.D.Seminar B	1後	2				1				
	地域貢献Ⅰ	1後		2			1				
	情報リテラシー基礎 A	1前		2						1	
	情報リテラシー基礎 B	1後		2						1	
	ROSE(海外語学・経済研修)	1前		2		1					
	基礎ゼミ A	2前	2			1					
	基礎ゼミ B	2後	2			1					
	地域貢献Ⅱ	2後		2		1					
	情報リテラシー応用 A	2前		2				1			
	情報リテラシー応用 B	2後		2				1			
	キャリアデザインⅠ A	2前		2						1	
	キャリアデザインⅠ B	2後		2						1	
	インターンシップ	2前		2						1	
	インターンシップ(実習)	2前		2						1	
	リーダーシップⅠ A	2前		2			1				
	リーダーシップⅠ B	2後		2			1				
	専門ゼミⅠ A	3前	2			1					
	専門ゼミⅠ B	3後	2			1					
	キャリアデザインⅡ A	3前		2						1	
	キャリアデザインⅡ B	3後		2						1	
専 門 科 目 学 科 専 門 科 目	経営学 A	1前	2								1
	経営学 B	1後	2								1
	経済学 A	1前		2		1					
	経済学 B	1後		2		1					
	簿記原理Ⅰ A	1前		2						1	
	簿記原理Ⅰ B	1後		2						1	
	アカデミックライティングⅠ A	1前		1		1					
	アカデミックライティングⅠ B	1後									

卒業要件及び履修方法
大学に4年以上在学し、基礎科目（語学系 選択必修科目8単位以上、教養科目 選択科目12単位以上）計34単位以上、専門科目（必修科目20単位、選択科目60単位以上）計80単位以上を履修するとともに、さらに基礎科目および専門科目の中から10単位以上履修し、合計124単位以上を修得すること。 （履修科目の登録の上限： 1年次44単位、 2～4年次48単位（年間））

卒業要件及び履修方法
大学に4年以上在学し、基礎科目（語学系 選択必修科目8単位以上、教養科目 選択科目12単位以上）計34単位以上、専門科目（必修科目20単位、選択科目60単位以上）計80単位以上を履修するとともに、さらに基礎科目および専門科目の中から10単位以上履修し、合計124単位以上を修得すること。 （履修科目の登録の上限： 1年次44単位、 2～4年次48単位（年間））

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目 語学系	英語ⅠA	1前		1			1				
	英語ⅠB	1後		1			1				
	英語ⅡA	1前		1		1					
	英語ⅡB	1後		1		1					
	英語ⅢA	1前		1			1				
	英語ⅢB	1後		1			1				
	英語ⅣA	1前		1							1
	英語ⅣB	1後		1							1
	英語ⅤA	2前		1							
	英語ⅤB	2後		1							
	ビジネスイングリッシュⅠA	2前		1							
	ビジネスイングリッシュⅠB	2後		1							
	ビジネスイングリッシュⅡA	3前		1							
	ビジネスイングリッシュⅡB	3後		1							
	中国語ⅠA	1前		1							1
	中国語ⅠB	1後		1							1
	中国語ⅡA	2前		1							
	中国語ⅡB	2後		1							
	中国語ⅢA	3前		1							
	中国語ⅢB	3後		1							
	ドイツ語ⅠA	1前		1							1
	ドイツ語ⅠB	1後		1							1
	ドイツ語ⅡA	2前		1							
	ドイツ語ⅡB	2後		1							
	フランス語ⅠA	1前		1							1
	フランス語ⅠB	1後		1							1
	フランス語ⅡA	2前		1							
	フランス語ⅡB	2後		1							
基礎科目 人文科学系	哲学Ⅰ	1前		2							1
	哲学Ⅱ	1後		2							1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 科 目 学 科 専 門	外書講読	3前		2							
	ホスピタリティ ビジネス	3後		2							
	国際政治外交史	4前		2							
	国際金融論	4後		2							
	小計(61科目)	－									
合計(115科目)		－									
卒業要件及び履修方法											
大学に4年以上在学し、基礎科目（語学系 選択必修科目8単位以上、教養科目 選択科目12単位以上）計34単位以上、専門科目（必修科目20単位、選択科目60単位以上）計80単位以上を履修するとともに、さらに基礎科目および専門科目の中から10単位以上履修し、合計124単位以上を修得すること。 （履修科目の登録の上限： 1年次44単位、 2～4年次48単位（年間））											

- （注） ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。
（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・学生の資質向上を図るため、新規科目として、専門科目『SDプログラム』に「卒業論文A・B」（4年次配当科目、各2単位）を追加
- ・時間割編成において、「英語ⅢA・B」の専任教員の配置を「教授」から「准教授」に変更
- ・時間割編成において、「英語ⅣA・B」の教員配置を「専任 准教授」から「兼任 講師」に変更

【令和元年度】

- ・平成30年度の福岡キャンパス設置に引き続き、令和元年度、渋谷キャンパスにも同学科を設置（入学定員：20人）したため、1年次配当科目58科目分の専任教員等の配置を追加。
渋谷：専任教授1名「S. D. Seminar A」「S. D. Seminar B」担当。渋谷：専任講師1名「経営学A」「経営学B」担当。その他の科目：兼任・兼任教員が担当。
- ・福岡：専任教授辞任により、「日本史Ⅰ・Ⅱ」の専任教員等の配置を「専任教授」から「兼任教授」に変更。
- ・福岡：専任教授辞任により、「ROSE（海外語学・経済研修）」の専任教員等の配置を「専任教授」から「専任准教授」に変更。
- ・福岡：専任講師辞任により、「文学をよむ文化を知る（旧：文学）」の専任教員等の配置を「専任講師」から「兼任講師」に変更。
- ・福岡：時間割編成において、「英語ⅡA・B」の専任教員等の配置を「教授」から「准教授」に変更。
- ・福岡：時間割編成において、「英語ⅢA・B」の専任教員等の配置を「教授」から「講師」に変更。
- ・グローバルな国際社会で活躍できるよう、「基礎科目 語学系」の第二外国語に新規科目「スペイン語ⅠA・B」（1年次配当科目、各1単位）及び「スペイン語ⅡA・B」（2年次配当科目、各1単位）を追加。
- ・新入生の履修登録において、授業科目名から容易に授業の内容をイメージできるよう平易な科目名に変更。
「心理学」を「心のしくみと行動の科学」、「文学」を「文学をよむ文化を知る」、「文章表現論」を「ビジュアルライティング（文章表現）」
「情報社会学」を「ソーシャルメディアとコミュニケーション」、「憲法Ⅰ」を「くらしと法」、「憲法Ⅱ」を「日本国憲法」、「生物学」を「動植物の体のしくみ」、「数学」を「文系のための数学」、「ビジネス統計」を「数字でよみとくビジネス」、「ソシオバイオロジー」を「動植物の進化のしくみ」、「環境論」を「環境と社会生活」に、それぞれ変更した。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
10 科目	103 科目	0 科目	113 科目	10 科目 []	109 科目 [+6]	0 科目 []	119 科目 [+6]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	国際経済学 A	2	2	専門	選択	2年次長期留學生が多数いるため、3年次に開講
2	国際経済学 B	2	2	専門	選択	2年次長期留學生が多数いるため、3年次に開講
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」
「国際経済学 A・B」は、本学科の学生にとって極めて重要な科目であるとともに、2年次は、本学科の大半の学生が長期留學生として本学を不在にすることから、本科目を確実に履修できるよう、帰国後の3年次に開講することとした。

「学生への周知方法」
履修登録時の履修指導において、2年生全員（17名）に対し周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{2}{113} = \boxed{1.76} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	渋谷キャンパスの運動場用地は、日本薬科大学運動場10,000㎡を共同利用、法令上の必要面積 小計3,663.94㎡ その他 0.00㎡ 合計 3,663.94㎡。 共用は福岡こども短期大学との共用。		
	校 舎 敷 地	59,741.02㎡	0㎡	0㎡	59,741.02㎡			
	運動場用地	17,629.01㎡	7,229.03㎡	0㎡	24,858.04㎡			
	小 計	77,370.03㎡	7,229.03㎡	0㎡	84,599.06㎡			
	そ の 他	49,064.62㎡	0㎡	0㎡	49,064.62㎡			
	合 計	126,434.65㎡	7,229.03㎡	0㎡	133,663.68㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		88,148.68㎡ (88,148.68㎡)	1,778.00㎡ (1,778.00㎡)	0㎡ (0㎡)	89,926.68㎡ (89,926.68㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		82 室	34 室	8 室	7 室 (補助職員 5人)	3 室 (補助職員 5人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		平成31年4月、渋谷キャンパスにおいて専任教授1名、専任講師1名を新規配置のため(元)		
		経営学部 グローバルビジネス学科		10 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部、学科での特定が不能なため、大学全体の数
	経営学部 グローバルビジネス学科	185,285 [69,255] (165,285 [42,800])	289 [267] (311 [109])	2,714 [2,714] (2714 [2714])	2,195 (1,635)	37,837 (37,837)	0 0	
	計	185,285 [69,255] (165,285 [42,800])	289 [267] (311 [109])	2,714 [2,714] (2714 [2714])	2,195 (1,635)	37,837 (37,837)	0 0	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体
		2,764㎡		641席		210,000冊		
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	日本経済大学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
経済学部	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
経済学科	4	140	－	560	学士 (経済学)	0.88	－	昭和43	福岡県太宰府市五条 3丁目11番25号	
商学科	4	230	－	920	学士 (経済学)	0.99	－	平成17	同上	
経営法学科	4	60	－	240	学士 (経済学)	0.69	－	平成19	兵庫県神戸市琴ノ緒町 4-4-7	
健康スポーツ経営学科	4	80	－	320	学士 (健康スポーツ 経営学)	1.11	－	平成24	福岡県太宰府市五条 3丁目11番25号	
経営学部										
経営学科	4	780	－	3,460	学士 (経営学)	1.05	平成31	平成26	同上	平成28年度定員変更 (△100)
									東京都渋谷区桜丘町 24-5	平成30年度定員変更 (△20)
										平成31年度定員変更 (△100)
グローバルビジネス学科	4	40	－	60	学士 (経営学)	0.78	平成31	平成30	福岡県太宰府市五条 3丁目11番25号	平成31年度定員変更 (+20)
									東京都渋谷区桜丘町 24-5	
芸創プロデュース学科	4	80	－	80	学士 (経営学)	0.75		平成31	福岡県太宰府市五条 3丁目11番25号	
									東京都渋谷区桜丘町 24-5	
経営学研究科										
経営学専攻（博士 前期課程）	2	20	－	40	修士 (経営学)	1.05	－	平成24	東京都渋谷区桜丘町 24-5	
経営学専攻（博士 後期課程）	3	3	－	9	博士 (経営学)	0.11	－	平成26	同上	
大学全体	4	1433	－	5689	－	0.82	－	－	－	
大 学 の 名 称	福岡こども短期大学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
こども教育学科	2	300	－	600	短期大学士 (こども教育)	0.72	－	昭和51年度	福岡県太宰府市五条 3丁目11番25号	
大学全体	2	300	－	600	－	0.72	－	－	－	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「

5 教員組織の状況

<経営学部 グローバルビジネス学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ブルノ カート クリスチャン ＜平成30年4月＞ 修士（経営学）
		専門ゼミⅠA 専門ゼミⅠB 専門ゼミⅡA 専門ゼミⅡB マーケティング論A マーケティング論B 国際経済学A 国際経済学B 政治学Ⅰ 政治学Ⅱ
専	教授	セバスチャン デイケン ＜平成30年4月＞ 修士（日本学） イギリス修士（経済学）
		日本史Ⅰ 日本史Ⅱ ROSE(海外語学・経済研修) 経済学A 経済学B
専	教授	濱田 幸裕 ＜平成30年4月＞ 文学士
		英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB 基礎ゼミA 基礎ゼミB 総合英語ⅡA 総合英語ⅡB
専	教授	ネルソン フミコ ＜平成30年4月＞ 学士（経済学）
		アカデミックライティングⅠA アカデミックライティングⅠB アカデミックライティングⅡA アカデミックライティングⅡB

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ブルノ カート クリスチャン ＜平成30年4月＞ 修士（経営学）
		専門ゼミⅠA 専門ゼミⅠB 専門ゼミⅡA 専門ゼミⅡB 卒業論文A 卒業論文B マーケティング論A マーケティング論B 国際経済学A 国際経済学B 政治学Ⅰ 政治学Ⅱ
専	教授	セバスチャン デイケン ＜平成30年4月＞ 修士（日本学） イギリス修士（経済学）
		日本史Ⅰ 日本史Ⅱ ROSE(海外語学・経済研修) 経済学A 経済学B
専	教授	濱田 幸裕 ＜平成30年4月＞ 文学士
		英語ⅡA 英語ⅡB 基礎ゼミA 基礎ゼミB 総合英語ⅡA 総合英語ⅡB
専	教授	ネルソン フミコ ＜平成30年4月＞ 学士（経済学）
		アカデミックライティングⅠA アカデミックライティングⅠB アカデミックライティングⅡA アカデミックライティングⅡB

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ブルノ カート クリスチャン ＜平成30年4月＞ 修士（経営学）
		専門ゼミⅠA 専門ゼミⅠB 専門ゼミⅡA 専門ゼミⅡB 卒業論文A 卒業論文B 国際経済学A 国際経済学B 政治学Ⅰ 政治学Ⅱ 外書講読
専	教授	クレイグ ユアン ＜平成30年4月＞ 修士（国際マーケティング学） 修士（経済学）
		哲学Ⅰ 哲学Ⅱ 経済学A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	麻生 雅樹 ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅣA 英語ⅣB リーダーシップⅠA リーダーシップⅠB
専	准教授	椿 健太朗 ＜平成30年4月＞ 学士（国際開発学）アメリカ
		S. D. Seminar A S. D. Seminar B 地域貢献Ⅰ リーダーシップⅡA リーダーシップⅡB
専	講師	アレクサンダー アント・リュ ＜平成30年4月＞ 学士（文学）イギリス
		文学 外書講読
専	講師	ニューマン ダニエル ＜平成31年4月＞ 修士（日本学）イギリス
		情報リテラシー応用A 情報リテラシー応用B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	麻生 雅樹 ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅢA 英語ⅢB リーダーシップⅠA リーダーシップⅠB
専	准教授	椿 健太朗 ＜平成30年4月＞ 学士（国際開発学）アメリカ
		S. D. Seminar A S. D. Seminar B 地域貢献Ⅰ リーダーシップⅡA リーダーシップⅡB
専	講師	アレクサンダー アント・リュ ＜平成30年4月＞ 学士（文学）イギリス
		文学 外書講読
専	講師	ニューマン ダニエル ＜平成31年4月＞ 修士（日本学）イギリス
		情報リテラシー応用A 情報リテラシー応用B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
渋谷 専	教授	高橋 宏誠 ＜平成31年4月＞ 博士（学術）
		S. D. Seminar A S. D. Seminar B
専	准教授	麻生 雅樹 ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		S. D. Seminar A S. D. Seminar B 英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB リーダーシップⅠA リーダーシップⅠB
専	准教授	椿 健太朗 ＜平成30年4月＞ 学士（国際開発学）アメリカ
		地域貢献Ⅰ ROSE(海外語学・経済研修) リーダーシップⅡA リーダーシップⅡB
専	講師	ジョセフ マイヨール ＜平成30年4月＞ 修士（文学）イギリス
		英語ⅢA 英語ⅢB
専	講師	ニューマン ダニエル ＜平成31年4月＞ 修士（日本学）イギリス
		情報リテラシー応用A 情報リテラシー応用B
渋谷 専</		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	新井 敦子 ＜平成32年4月＞ 準学士（文学）
		ホスピタリティビジネス
兼任	教授	蘭 和真 ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		スポーツA スポーツB
兼任	教授	市川 千尋 ＜平成33年4月＞ 博士（経営学）
		国際金融論
兼任	教授	井上 伸明 ＜平成31年4月＞ 修士（経営学）
		情報処理論A 情報処理論B
兼任	教授	上野 真二 ＜平成31年4月＞ 修士（商学）
		会社法
兼任	教授	ラフマン モクスール ＜平成30年4月＞ 修士（経済学）
		社会学概論 国際関係論
兼任	准教授	竹川 克幸 ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		地域再発見

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	新井 敦子 ＜平成32年4月＞ 準学士（文学）
		ホスピタリティビジネス
兼任	教授	蘭 和真 ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		スポーツA スポーツB
兼任	教授	市川 千尋 ＜平成33年4月＞ 博士（経営学）
		国際金融論
兼任	教授	井上 伸明 ＜平成31年4月＞ 修士（経営学）
		情報処理論A 情報処理論B
兼任	教授	上野 真二 ＜平成31年4月＞ 修士（商学）
		会社法
兼任	教授	ラフマン モクスール ＜平成30年4月＞ 修士（経済学）
		社会学概論 国際関係論
兼任	教授	竹川 克幸 ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		地域再発見

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	新井 敦子 ＜平成32年4月＞ 準学士（文学）
		ホスピタリティビジネス
兼任	教授	蘭 和真 ＜平成30年4月＞ 博士（医学）
		スポーツA スポーツB
兼任	教授	市川 千尋 ＜平成33年4月＞ 博士（経営学）
		国際金融論
兼任	教授	井上 伸明 ＜平成31年4月＞ 修士（経営学）
		情報処理論A 情報処理論B
兼任	教授	上野 真二 ＜平成31年4月＞ 修士（商学）

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	鶴石 蘭 ＜平成30年4月＞ 博士（経営学）
		簿記原理ⅠA 簿記原理ⅠB 国際経営論
兼任	講師	アーンショウ キース ＜平成30年4月＞ 学士（化学）イギリス
		環境論 資源環境・エネルギー論
兼任	講師	エドワーズ デビッド ＜平成30年4月＞ 修士（商学）イギリス
		経営学A 経営学B 総合英語ⅠA 総合英語ⅠB 会計学A 会計学B
兼任	講師	平 誠一 ＜平成33年4月＞ 修士（法学）
		国際政治外交史

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	鶴石 蘭 ＜平成30年4月＞ 博士（経営学）
		簿記原理ⅠA 簿記原理ⅠB 国際経営論
兼任	講師	アーンショウ キース ＜平成30年4月＞ 学士（化学）イギリス
		環境論 資源環境・エネルギー論
兼任	講師	エドワーズ デビッド ＜平成30年4月＞ 修士（商学）イギリス
		経営学A 経営学B 総合英語ⅠA 総合英語ⅠB 会計学A 会計学B
兼任	講師	平 誠一 ＜平成33年4月＞ 修士（法学）
		国際政治外交史

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	鶴石 蘭 ＜平成30年4月＞ 博士（経営学）
		簿記原理ⅠA 簿記原理ⅠB 国際経営論
渋谷 兼任	准教授	金 靖 ＜平成31年4月＞ 修士（法学）
		くらしと法（旧：憲法Ⅰ） 日本国憲法（旧：憲法Ⅱ）
渋谷 兼任	准教授	徐 雪青 ＜平成31年4月＞ 博士（比較文化）
		英語ⅡA 英語ⅡB
渋谷 兼任	准教授	福島 綾一 ＜平成31年4月＞ 修士（工学）
		情報リテラシー基礎A 情報リテラシー基礎B スポーツA スポーツB
渋谷 兼任	准教授	望月 洋佑 ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）
		数字でよみとくビジネス （旧：ビジネス統計）
兼任	講師	アーンショウ キース ＜平成30年4月＞ 学士（化学）イギリス
		環境と社会生活（旧：環境論） 資源環境・エネルギー論
兼任	講師	エドワーズ デビッド ＜平成30年4月＞ 修士（商学）イギリス
		経営学A 経営学B 総合英語ⅠA 総合英語ⅠB 会計学A 会計学B

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	デジレロイ ハルテミ ＜平成30年4月＞ 修士（生物学）イギリス
		生物学 ソシオ・バイオロジー
兼任	講師	ハプロジェネグアイフ ベネフィル ＜平成30年4月＞ 修士（教育学）イギリス
		情報リテラシー基礎A 情報リテラシー基礎B
兼任	講師	ハリソン プレント ＜平成30年4月＞ 学士（文学）イギリス
		数学 ビジネス統計
兼任	講師	バルト ロメロ ホーヘ ＜平成31年4月＞ 学士（数学）メキシコ
		ビジネスイングリッシュⅠA ビジネスイングリッシュⅠB ビジネスイングリッシュⅡA ビジネスイングリッシュⅡB
兼任	講師	マクレーンベリ アレキサンダー ＜平成30年4月＞ 学士（歴史学）イギリス
		西洋史 東洋史
兼任	講師	森 由紀 ＜平成31年4月＞ 学士（文学）
		インターンシップ インターンシップ（実習） ICTビジネス講座
兼任	講師	山口 雄介 ＜平成30年4月＞ 修士（心理学）
		心理学
兼任	講師	吉田 雅彦 ＜平成31年4月＞ 修士（工学）
		経営組織論

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	デジレロイ ハルテミ ＜平成30年4月＞ 修士（生物学）イギリス
		生物学 ソシオ・バイオロジー
兼任	講師	ハプロジェネグアイフ ベネフィル ＜平成30年4月＞ 修士（教育学）イギリス
		情報リテラシー基礎A 情報リテラシー基礎B
兼任	講師	ハリソン プレント ＜平成30年4月＞ 学士（文学）イギリス
		数学 ビジネス統計
兼任	講師	バルト ロメロ ホーヘ ＜平成31年4月＞ 学士（数学）メキシコ
		ビジネスイングリッシュⅠA ビジネスイングリッシュⅠB ビジネスイングリッシュⅡA ビジネスイングリッシュⅡB
兼任	講師	マクレーンベリ アレキサンダー ＜平成30年4月＞ 学士（歴史学）イギリス
		西洋史 東洋史
兼任	講師	森 由紀 ＜平成31年4月＞ 学士（文学）
		インターンシップ インターンシップ（実習） ICTビジネス講座
兼任	講師	山口 雄介 ＜平成30年4月＞ 修士（心理学）
		心理学
兼任	講師	吉田 雅彦 ＜平成31年4月＞ 修士（工学）
		経営組織論

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	デジレロイ ハルテミ ＜平成30年4月＞ 修士（生物学）イギリス
		動植物の体のしくみ(旧:生物学) 動植物の進化のしくみ(旧:ソシオ・バイオロジー)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ランドリガン ドン ＜平成31年4月＞ 学士（人文学）イギリス
		英語ⅤA 英語ⅤB
兼任	講師	王 暁芳 ＜平成30年4月＞ 学士（文学）
		中国語ⅠA 中国語ⅠB
兼任	講師	後藤 浩士 ＜平成30年4月＞ 修士（法学）
		憲法Ⅰ 憲法Ⅱ
兼任	講師	趙 雪梅 ＜平成31年4月＞ 法学士
		中国語ⅡA 中国語ⅡB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ラザ マニー ＜平成30年4月＞ 学士（教育学）
		英語ⅣA 英語ⅣB
兼任	講師	ランドリガン ドン ＜平成31年4月＞ 学士（人文学）イギリス
		英語ⅤA 英語ⅤB
兼任	講師	王 暁芳 ＜平成30年4月＞ 学士（文学）
		中国語ⅠA 中国語ⅠB
兼任	講師	後藤 浩士 ＜平成30年4月＞ 修士（法学）
		憲法Ⅰ 憲法Ⅱ
兼任	講師	趙 雪梅 ＜平成31年4月＞ 法学士
		中国語ⅡA 中国語ⅡB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ラザ マニー ＜平成30年4月＞ 学士（教育学）
		英語ⅣA 英語ⅣB
兼任	講師	ランドリガン ドン ＜平成31年4月＞ 学士（人文学）イギリス
		英語ⅤA 英語ⅤB
渋谷 兼任	講師	スラヤ・タスノバ ＜平成31年4月＞ 博士（農学）
		経済学A 経済学B
渋谷 兼任	講師	マクリンニカスト ナルド ライフ ＜平成31年4月＞ 学士
		英語ⅢA 英語ⅢB 英語ⅣA 英語ⅣB 西洋史
兼任	講師	王 暁芳 ＜平成30年4月＞ 学士（文学）
		中国語ⅠA 中国語ⅠB
兼任	講師	大塚 幸子 ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）
		文学をよむ文化を知る （旧：文学）
兼任	講師	後藤 浩士 ＜平成30年4月＞ 修士（法学）
		くらしと法（旧：憲法Ⅰ） 日本国憲法（旧：憲法Ⅱ）
兼任	講師	趙 雪梅 ＜平成31年4月＞ 法学士
		中国語ⅡA 中国語ⅡB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	床並 征生 ＜平成32年4月＞ 工学修士
		経営管理論A 経営管理論B
兼任	講師	中村 彰夫 ＜平成30年4月＞ 経済学修士
		地理学Ⅰ 地理学Ⅱ
兼任	講師	能木 敬次 ＜平成30年4月＞ 独文学修士
		ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅡB フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅡA フランス語ⅡB
兼任	講師	的野 佑妃子 ＜平成31年4月＞ 学士（商学）
		キャリアデザインⅠA キャリアデザインⅠB
兼任	講師	吉田 和裕 ＜平成30年4月＞ 学士（体育学）
		健康科学
兼任	講師	吉原 さくら ＜平成32年4月＞ 修士（経営学）
		キャリアデザインⅡA キャリアデザインⅡB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	床並 征生 ＜平成32年4月＞ 工学修士
		経営管理論A 経営管理論B
兼任	講師	中村 彰夫 ＜平成30年4月＞ 経済学修士
		地理学Ⅰ 地理学Ⅱ
兼任	講師	能木 敬次 ＜平成30年4月＞ 独文学修士
		ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅡB フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅡA フランス語ⅡB
兼任	講師	的野 佑妃子 ＜平成31年4月＞ 学士（商学）
		キャリアデザインⅠA キャリアデザインⅠB
兼任	講師	吉田 和裕 ＜平成30年4月＞ 学士（体育学）
		健康科学
兼任	講師	吉原 さくら ＜平成32年4月＞ 修士（経営学）
		キャリアデザインⅡA キャリアデザインⅡB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	床並 征生 ＜平成32年4月＞ 工学修士
		経営管理論A 経営管理論B
兼任	講師	中村 彰夫 ＜平成30年4月＞ 経済学修士
		地理学Ⅰ 地理学Ⅱ
兼任	講師	能木 敬次 ＜平成30年4月＞ 独文学修士
		ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅡB フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅡA フランス語ⅡB 倫理学Ⅰ 倫理学Ⅱ
兼任	講師	的野 佑妃子 ＜平成31年4月＞ 学士（商学）
		キャリアデザインⅠA キャリアデザインⅠB
兼任	講師	濱田 瑠利 ＜平成31年4月＞ 修士（文学）
		スペイン語ⅠA スペイン語ⅠB スペイン語ⅡA スペイン語ⅡB
兼任	講師	吉田 和裕 ＜平成30年4月＞ 学士（

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	渡部 和隆 ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		哲学Ⅰ 哲学Ⅱ 倫理学Ⅰ 倫理学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	渡部 和隆 ＜平成30年4月＞ 修士（文学）
		哲学Ⅰ 哲学Ⅱ 倫理学Ⅰ 倫理学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
渋谷 兼任	講師	海上 知明 ＜平成31年4月＞ 博士（経済学）
		日本史Ⅰ 日本史Ⅱ 環境と社会生活(旧:環境論)
渋谷 兼任	講師	笠井 亮平 ＜平成31年4月＞ 修士（国際政治学）
		政治学Ⅰ 政治学Ⅱ
渋谷 兼任	講師	黒田 正平 ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）
		文学をよむ文化を知る (旧:文学)
渋谷 兼任	講師	佐藤 一明 ＜平成31年4月＞ 学士
		文系のための数学(旧:数 学)
渋谷 兼任	講師	宗宮 邦裕 ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）
		東洋史
渋谷 兼任	講師	高橋 庄子 ＜平成31年4月＞ 修士（経営学）
		中国語ⅠA 中国語ⅠB
渋谷 兼任	講師	滝本 祥子 ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）
		心のしくみと行動の科学 (旧:心理学)

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
渋谷 兼任	講師	建宮 努 ＜平成31年4月＞ 博士（総合社会文化）
		簿記原理ⅠA 簿記原理ⅠB
渋谷 兼任	講師	野口 智代 ＜平成31年4月＞ 学士（文学）
		英語ⅠA 英語ⅠB

- （注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・学生の資質向上を図るため、専門科目『SDプログラム』に「卒業論文A・B」（4年次配当科目、各2単位）を追加、ブルーノ カート クリスチャン教授が担当予定。
- ・時間割編成において、「英語ⅢA・B」を専任 濱田幸裕教授から専任 麻生雅樹准教授に変更。
- ・時間割編成において、「英語ⅣA・B」を専任 麻生雅樹准教授から兼任 ラザ マニー講師に変更。
- ・平成30年4月 ラザ マニー 講師就任。他学科（経済学科）に所属し、兼任として本学科の授業科目「英語ⅣA・B」を担当。
- ・設置届出書において、エドワーズ ディビッドは、本来「兼任」であったのを「兼任」と表記してしまいました。申し訳ありません。訂正させていただきました。

【令和元年度】

- ・平成30年度の福岡キャンパス設置に引き続き、令和元年度、渋谷キャンパスにも同学科を設置することにより、1年次配当科目の教育担当者25名を追加。
（専任教授1名、専任講師1名、兼任教授8名、兼任准教授4名、兼任講師2名、兼任講師9名）
- ・福岡：専任セバスチャン ディキン教授の辞任により、「日本史Ⅰ・Ⅱ」は兼任竹川克幸教授に、「ROSE（海外語学・経済研修）」は専任椿健太郎准教授に、「経済学A・B」は新規採用の専任クレイグ ユアン教授に担当者変更。
- ・福岡：専任アレクサンダー アンドリュウ講師の辞任により、「文学（現：文学をよむ文化を知る）」は兼任大塚幸子講師に、「外書講読」は専任ブルーノ カート クリスチャン教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「マーケティング論A・B」を専任ブルーノ カート クリスチャン教授から新規採用専任クレイグ ユアン教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「哲学Ⅰ・Ⅱ」を兼任渡部和隆講師から新規採用専任クレイグ ユアン教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「S. D. Seminar A・B」を専任椿健太郎准教授から専任麻生雅樹准教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「英語ⅡA・B」を専任濱田幸裕教授から専任麻生雅樹准教授に担当者変更。
- ・福岡：時間割編成において、「英語ⅢA・B」を専任麻生雅樹准教授から新規採用専任ジョセフ マイヨール講師に担当者変更。
- ・福岡：兼任渡部和隆講師の辞任により、「倫理学Ⅰ・Ⅱ」を兼任能木敬次講師に担当者変更。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
4	2	2	0	8	5	2	3	0	10
(4)	(2)	(2)	(0)	(8)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)
6	2	4	0	12	6	2	4	0	12
[+2]	[-]	[+2]	[-]	[+4]	[+2]	[-]	[+2]	[-]	[+4]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
- ・ **「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
- ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
教授：65 准教授、講師：60 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
- [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{8} = \boxed{150} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{10} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1		該当なし		必修							
				選択							
				必修							
2				自由							
				必修							
				必修							
合計（D）											
就任を辞退した教員数				後任補充状況の集計（E）							
				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人			必修	#VALUE! 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目		
				選択	#VALUE! 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目		
				自由	#VALUE! 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目		
				計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目		

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	セバスタン・テイケン	H31.3	選択	日本史Ⅰ	②	H31.3.31付け、一身上の都合（転職）のため辞任（元）
				選択	日本史Ⅱ	②	
				選択	ROSE（海外語学・経済研修）	①	

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」 セバスチャン デイキン教授及びアレクサンダー アンドリュウ講師の2名から、早期に、一身上の都合(転職)により退職する旨の申し出があり、新規採用の後任者の補充を行うことが出来、学生への影響が出ないように対応することができた。 「学生への周知方法」 履修登録(時間割策定)前に対応が完了しており、特に混乱はない。
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況		今後の の実施計画
認 可 時 (29年)	特になし。	留意事項			
設置計画履行状況 調 査 時 (30年)	該当なし。	留意事項			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年)					
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年)					
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年)					

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<経営学部 グローバルビジネス学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし。	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ FD委員会
- ・ SD委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD委員会

2ヶ月に1回、構成員；福岡：教員8名、渋谷：教員：教員9名

SD委員会

必要に応じ開催、構成員；福岡：教職員6名、渋谷：教職員4名

c 委員会の審議事項等

FD委員会

- ・ FD推進のための企画及び実施に関すること。
- ・ FDに関する報告書等の作成に関すること。
- ・ FDに関する調査・研究に関すること。
- ・ 教育内容及び教育環境の改善に関すること。
- ・ 教育技法の改善・向上のための具体的活動に関すること。
- ・ 学生による授業評価の実施・結果公表と授業改善に関すること。
- ・ 教育職員の資質開発を図るための組織的な研修に関すること。
- ・ その他FDの推進及び委員会に関すること。

SD委員会

- ・ SD推進のための企画及び実施に関すること。
- ・ SDに関する報告書等の作成に関すること。
- ・ SDに関する調査・研究に関すること。
- ・ 事務職員及び教育職員の大学運営についての資質開発を図るための組織的な研修に関すること。
- ・ その他、学長の諮問する事項等

② 実施状況

a 実施内容

FD委員会

- ・ 授業方法についての研究
- ・ 学生による授業評価アンケートの企画・実施
- ・ 教員による授業参観の企画・実施
- ・ 学生指導要領の検討、特に中途退学防止について
- ・ 新任教員のための研修会の企画・実施
- ・ 学外FDフォーラム等研修会への参加

S D委員会

- ・ 職員の資質向上を図るための普及教育
- ・ 新任職員のための研修会
- ・ 学外S Dフォーラム等研修会への参加

b 実施方法

F D委員会

- ・ 授業評価アンケートの企画・実施及び評価
- ・ 教員による授業参観の企画・実施及び改善事項の徹底
(学生による授業評価アンケート結果が高い教員の授業実施要領を研修し参考にする。)
- ・ 全教員のための研修会の企画・実施
- ・ F D委員会において、教員の資質向上に関する事項の検討
- ・ F D委員会における懸案事項を各学科長から各学科の教員に伝達し情報を共有する。
- ・ 内容により、全教員対象の研修会の実施、または全教員へのメール送信による徹底

S D委員会

- ・ 職員のための研修会の企画・実施
- ・ 内容により、全職員対象の研修会の実施、または全職員へのメール送信による徹底

c 開催状況（教員の参加状況含む）

F D委員会

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------------|
| ・ 平成30年度履修登録の指導要領について | H30. 3. 20 教員研修 53名参加（福岡） |
| ・ 平成30年度教育指導計画の周知及び新任教員のための研修会 | H30. 4. 4 教員研修 48名参加（福岡） |
| ・ 新着任教員による授業づくり研修（授業参観） | H30. 6. 4～6. 7 延べ 32名研修（福岡） |
| ・ 教職員研修会（留学生事情研修会） | H30. 6. 15 教職員対象52名参加（渋谷） |
| ・ 平成30年度春学期授業評価アンケート | H30. 7. 9～H30. 7. 23 全教員対象（福岡・渋谷） |
| ・ 教職員研修会（教員研究発表会） | H30. 7. 27 教員対象 39名参加（渋谷） |
| ・ F D・S D研修会（中途退学防止について） | H30. 8. 24 教員研修 41名参加（福岡） |
| ・ 教職員研修会（新設学科におけるポリシーの枠組み他） | H30. 9. 6～9. 7 教職員研修 49名参加（渋谷） |
| ・ ハラスメント研修会 | H30. 11. 8 教職員対象 59名参加（渋谷） |
| ・ 公開授業参観 | H30. 11. 12～11. 15 教員研修 36名参加（渋谷） |
| ・ 平成30年度秋学期授業評価アンケート | H30. 12. 10～H30. 12. 21 全教員対象（福岡・渋谷） |
| ・ 高大接続改革の最新状況と高校の進路指導調査報告 | H30. 12. 25 全教職員対象（渋谷） |

S D委員会

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| ・ 新規採用職員に対する各課業務等の紹介 | H30年4月2日～4月6日 1名研修（福岡） |
| ・ 「A E D」使用方法の普及教育 | H30年4月13日 17名研修（福岡） |
| ・ 教職員研修会（留学生事情研修会） | H30. 6. 15 教職員対象52名参加（渋谷） |
| ・ F D・S D研修会（中途退学防止について） | H30. 8. 24 教員研修 35名参加（福岡） |
| ・ ハラスメント研修会 | H30. 11. 8 教職員対象 59名参加（渋谷） |
| ・ 高大接続改革の最新状況と高校の進路指導調査報告 | H30. 12. 25 全教職員対象（渋谷） |

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

- a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）

該当なし

- b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

- c 委員会の審議事項等

該当なし

- d その他

該当なし

② 審議状況

- a 審議した内容

該当なし

- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

経営学、経営管理、経営組織を中心に、現代企業の合理的運営に関する理論研究と実務活動とを実践的な英語教育により培い、グローバルなビジネスを展開できるスキルを身に付けるとともに、卓越した英語力を駆使し世界のビジネスシーンで活躍できる企業人を育成するという本学科の目的が理解されつつある確信する。

今年度は、昨年度の福岡キャンパスに引き続き、渋谷キャンパスにも本学科を設置し、募集広報に邁進したが、入学定員40人に対し、志願者51人。最終入学者は25人とやや不本意な結果となった。

ネイティブ教員による実践的語学教育に加え、さらに海外提携校も着実に増加していることから、短期・長期留学制度を活用し、より卓越した英語力を身に付けることができる学科であることを更に広報していく。

今後とも、本学ホームページ等を活用し認知度の更なる向上を図るとともに、英語力の向上を希望する生徒及び高等学校への広報を強化し、設置の趣旨・目的が十分達成できるよう努力していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和元年9月末 公表（予定）

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成29年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受け「適合」と認定された。（平成30年2月7日）
- ・令和6年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受ける予定

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ ☒ 有 ・ ☐ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和 元 年 5 月 31 日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。